





## 平成 22 年度主催講座一覧

### (1) エコライフ講座


番 号	No. 1	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	結晶であそぼう	
日 時	4月11日(日) 10:00~12:00	
講 師	市民ボランティア インタープリター	
対 象	小学3年生以上	
参加人数	49名	
ね ら い	結晶を通して、全ての物は原子でできていることを学ぶ	
概 要	鉱石や結晶の実物を使った実験を通じて、物質や原子について学んだ	
実施内容	砂粒をスコープで拡大して石の種類を見分け、いろんな結晶を観察。結晶ができるしくみなどを学んだ。また、黒画用紙に食塩水で好きな絵を描き、乾燥させて食塩の白い結晶を浮かび上がらせる実験も行った。	
参加者の反応	次々と紹介される鉱物に、子どもたちは興味津々。スコープでの観察や、結晶を金槌で割る実験のほか、食塩水で絵を描く実験が子供たちに大好評だった。	
材料・道具	各種鉱石、結晶、金槌、ホットプレートなど	


番 号	No. 2	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	和紙とはぎれでつくるコサージュ	
日 時	4月17日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	20名	
ね ら い	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概 要	古くなった衣類と和紙のはぎれを使ったコサージュづくり	
実施内容	クイズ形式で和紙についての紹介を行った後、つくり方の簡単な説明を行ってコサージュづくりを実施。あえて細かい説明は行わず、参加者の自由な発想を尊重しながら製作した。	
参加者の反応	大変賑やかで楽しい時間だった。「つくり方が難しかったけれど、とても親切に教えていただいて嬉しかった」という声が多かった。	
材料・道具	古布、和紙のはぎれなど	


番 号	No. 3	
区 分	絵手紙教室	
講 座 名	絵手紙でエコを発信しよう ～春編～	
日 時	4月24日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	13名	
ね ら い	旬を描く絵手紙を通して、エコについて考える	
概 要	春の旬の素材を題材にした絵手紙づくり	
実施内容	はじめに、「モノ」があふれる日本の暮らしを見つめなおすワークショップを実施してエコライフへの意識を高めた後、春の旬を題材に絵手紙を描いた。	
参加者の反応	初めて絵手紙をつくる方も多かったが、味のある作品がたくさん出揃った。みなさん始終笑顔で楽しんでいた。	
材料・道具	旬の野菜・果物・花、えんぴつ、絵の具、墨汁など	


番 号	No. 4	
区 分	インタープリター主導講座	
講 座 名	贈って楽しい手づくりメッセージカードをつくろう	
日 時	5月1日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	13名	
ね ら い	包装紙などの紙類が、ひと工夫で楽しくリユースできることを学ぶ	
概 要	厚紙や使用済み包装紙を使ったメッセージカードづくり	
実施内容	参加者が持参した包装紙や厚紙を使って製作した。絵柄が飛び出すカードや、きれいにデコレーションされたカードなど、見ているだけでも楽しいメッセージカードができあがった。	
参加者の反応	終始、楽しそうな様子だった。家族で参加された方も多く、親子で協力しながら、工夫を凝らしてデコレーションしていた。	
材料・道具	見本、折り紙、ハサミ、のりなど	


番号	No. 5	
区分	もった博士のかがかく倶楽部	
講座名	世界の国旗	
日時	5月9日(日) 10:00~12:00	
講師	市民ボランティア インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	15名	
ねらい	国旗にはそれぞれ意味があることを知り、地球全体のことに思いをはせる	
概要	地図やシールを使ったゲームとレクチャー	
実施内容	世界地図と国旗シールで国の場所を学んだ。また、教材を使ってそれぞれの国旗に込められた意味を学んだ。	
参加者の反応	子どもたちが積極的に、質問に答えていた。また、「何気なく見ていた国旗にいろいろな意味が込められていることを知れてよかった」という声が聞かれた。	
材料・道具	世界地図、国旗シール、テキスト	


番号	No. 6	
区分	エコ手芸教室	
講座名	ニットでつくる鍋つかみ&鍋敷き	
日時	5月15日(土) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上	
参加人数	6人	
ねらい	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概要	不要になったニット(セーターなど)を使った鍋つかみ&鍋敷きづくり	
実施内容	不要になったニットと布を縫い合わせて、鍋敷きとしても使うことができる鍋つかみを製作した。	
参加者の反応	リピーターの参加が多く、和気あいあいとした雰囲気ができている。全員が、参加してよかったという意見だった。	
材料・道具	不要になったニット、布、裁縫セット	


番号	No. 7	
区分	エコットクッキング	
講座名	手づくりかしわ餅で端午の節句を楽しもう	
日時	5月15日(土) 13:30~15:30	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	21名	
ねらい	料理を通して、生産・買い物・調理・片付けのエコへの気づきを促す	
概要	地元の旬の素材を使ったかしわ餅と漬物づくり	
実施内容	かしわ餅のほか、キャベツの甘酢漬けをつくった。旬の食材をいただくことや地産地消の大切さ、昔から伝わる食文化を、料理を通して学んだ。	
参加者の反応	終始にぎやかで楽しげな様子だった。どの料理からも「おいしい!」という声があがっていた。	
材料・道具	上新粉、片栗粉、砂糖、塩、あんこ、柏の葉、キャベツ、ニンジン など	


番号	No. 8	
区分	事務局主導講座	
講座名	親子でつくろう 竹トンボ	
日時	6月6日(日) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	10名	
ねらい	電気を使わない昔ながらの遊び道具の魅力に気づく	
概要	古竹を利用した竹トンボづくり	
実施内容	古竹で竹トンボをつくって遊んだ。また、道具の素材としての竹の性質や、竹林が荒廃している現状についても学んだ。	
参加者の反応	参加者が少なかったため、ナイフを使う際に、全員に目配りすることができた。できあがった竹トンボに、みな満足した様子だった。	
材料・道具	古竹、ナイフ、木工用ボンド、マーカー など	


番 号	No. 9	
区 分	もった博士のかがかく倶楽部	
講 座 名	ばくはつの条件	
日 時	6月13日(日) 10:00~12:00	
講 師	市民ボランティア インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	53名	
ね ら い	爆発現象の原因を知り、爆発を起こさない条件について学ぶ	
概 要	身の周りのものを使った軽い爆発実験とテキストを使ったレクチャー	
実施内容	実験を通して、原子のレベルから爆発のしくみについて学んだ。物質が爆発する条件について知ること、身の周りのものを爆発させずに、生活や仕事の場を安全に保つための工夫などについても学んだ。	
参加者の反応	賑やかで楽しい時間だった。「作り方が難しかったけれど、とても親切に教えていただいてうれしかった」という声も多く届いた。	
材料・道具	プリント、元素表、原子のカルタなど	


番 号	No. 10	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	はぎれでつくる携帯ケース	
日 時	6月19日(土) 10:00~11:30	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参加人数	16名	
ね ら い	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概 要	不要になった衣類やボタンを使った携帯ケースづくり	
実施内容	古い衣類から携帯ケースの型をとり、生地やボタンをそのまま活かして、縫い合わせて製作した。	
参加者の反応	できあがった携帯ケースに、それぞれ満足気の様子だった。「次は家族用につくってみたい」という声も聞かれた。	
材料・道具	不要になった衣類、衣類に付いたままのボタン、裁縫道具	


番 号	No. 11	
区 分	事務局主導講座	
講 座 名	みつろうキャンドルでスローな夜を	
日 時	6月20日(日) 10:00~11:30	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	15名	
ね ら い	キャンドルナイトやスローライフへの理解を深め、今の自分たちの暮らしを見つめ直すきっかけをつくる	
概 要	みつろうを使ったキャンドルづくり	
実施内容	夏至の前日に、みつろうキャンドルづくりを体験した。夏至と冬至に合わせて、全国的にキャンドルナイトが行われることを伝え、家庭でキャンドルナイトを楽しむよう促した。	
参加者の反応	大人も小さな子どもたちも、とても楽しんでいた。ミツバチの巣から採れるみつろうでロウソクができることに驚いていた。	
材料・道具	みつろう、紙ひも、カラーチップなど	

番 号	No. 12	
区 分	絵手紙教室	
講 座 名	絵手紙でエコを発信しよう ~夏編~	
日 時	7月3日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	12名	
ね ら い	旬を描く絵手紙を通して、エコについて考える	
概 要	夏の旬の素材を題材にした絵手紙づくり	
実施内容	ナス、きゅうり、さくらんぼ、桃などの題材をもとに、ハガキに自由に絵を描き、エコにつながる言葉を添えた。	
参加者の反応	真剣に、楽しそうに絵手紙に没頭していた。小さな子どもたちが一生懸命に筆を使う姿が、大人の参加者の微笑みを誘っていた。	
材料・道具	旬の野菜・果物・花、えんぴつ、絵の具、墨汁など	


番号	No. 13	
区分	エコットクッキング	
講座名	ヨーグルトパンケーキをつくろう	
日時	7月10日(土) 10:00~12:00	
講師	市民ボランティア インタープリター	
対象	小学生以上の親子	
参加人数	21人	
ねらい	料理を通して、生産・買い物・調理・片付けのエコへの気づきを促す	
概要	手軽でおいしいおやつづくり	
実施内容	水を使わずに、牛乳とヨーグルトを生地に練りこんでパンケーキをつくった。トッピングによって、味付けの違いを楽しんだ。片付けの際にも、水をたくさん使わなくてすむ方法を学んだ。	
参加者の反応	ミキサーで混ぜて焼くという手軽な方法で、参加者に好評だった。	
材料・道具	薄力粉、スキムミルク、砂糖、ヨーグルト、卵 ほか	


番号	No. 14	
区分	もった博士のかがく倶楽部	
講座名	生物と種	
日時	7月11日(日) 10:00~12:00	
講師	市民ボランティア インタープリター	
対象	小学3年生以上	
参加人数	6人	
ねらい	今秋に名古屋で開催される COP10 (生物多様性条約) にちなみ、生物の多様性について知り、環境を大切にする心を育てる	
概要	種の誕生の不思議について学ぶ	
実施内容	虫や動物、植物の交配について、一問一答のクイズ形式で学んだ。	
参加者の反応	少人数だったが、全員が熱心に質問について考え、講師と一体感のある講座になっていた。	
材料・道具	プリント、ペンギンの模型、ペンギンの生息地図など	


番号	No. 15	
区分	エコ手芸教室	
講座名	和手帽を作ろう	
日時	7月17日(土) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上	
参加人数	11名	
ねらい	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概要	不要になった布地を使った和手帽づくり	
実施内容	古い浴衣や手ぬぐいなどを使って、手縫いで昔なつかしい和手帽をつくった。	
参加者の反応	「思ったより簡単で楽しかった」という声が多かった。講座中は終始、とてもにぎやかで楽しげだった。	
材料・道具	アイロン、裁縫道具、細いゴムひもなど	


番号	No. 16	
区分	eco-T ボランティア1日体験会	
講座名	新聞紙ペパバッグづくり講座のお手伝い	
日時	7月19日(月) 9:30~16:00	
講師	eco-T 事務局	
対象	18歳以上	
参加人数	11名	
ねらい	講座を運営する側にまわることで、人に伝えることの充実感を体験する	
概要	エコライフを人に伝えるボランティアの1日体験会	
実施内容	午前中に新聞紙ペパバッグのつくり方を学び、紙の分別やリサイクルの大切さを学んだ。午後はペパバッグづくり講座の手伝いをし、最後に全員で1日の活動をふりかえった。	
参加者の反応	ペパバッグづくりを学びたいという意欲があり、満足感が高かった。「地域に帰って教えたい」などの声が聞かれた。参加者11名全員がボランティア登録した。	
材料・道具	新聞紙、のり、はさみ、定規など	





番号	No. 17	
区分	事務局主導講座	
講座名	新聞紙でペパバッグをつくろう	
日時	7月19日(月) 13:30~15:30	
講師	1日体験ボランティア体験者 インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	18名	
ねらい	新聞クラフトの体験を通じて、手づくりの楽しさや「もったいない」の心を学ぶ	
概要	古新聞を使ったペパバッグづくり	
実施内容	古新聞のカラーページを使って、ペパバッグをつくった。参加者それぞれが工夫して、色鮮やかなバッグができあがった。 分別として出す不要な新聞紙の量を減らす方法を楽しく学んだ。	
参加者の反応	出来あがったペパバッグに満足気な様子だった。	
材料・道具	新聞紙、のり、はさみ、定規など	


番号	No. 18	
区分	インタープリター主導講座	
講座名	アイデア貯金箱をつくろう	
日時	7月24日(土) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	37名	
ねらい	お菓子の箱を使ったクラフトの体験を通じて、手づくりの楽しさや「もったいない」の心を学ぶ	
概要	お菓子の箱や包装紙を使った貯金箱づくり	
実施内容	中身を食べ終わったお菓子の箱を使って、お金を入れると、キャラクターがくるくる手を回すかわいい貯金箱をつくった。	
参加者の反応	夏休みの課題用に参加する親子が多く、熱心に取り組んでいた。	
材料・道具	はさみ、のり(木工用ボンド)、定規など	


番号	No. 19	
区分	インタープリター主導講座	
講座名	夏休み課題のポスターを描こう	
日時	7月25日(日) 10:00~15:30	
講師	インタープリター	
対象	小学生	
参加人数	47名	
ねらい	環境に対する「感謝の気持ち」「願い」「約束」など、自分が大事だと思うことを表現する大切さを学ぶ	
概要	夏休みの課題用のポスターづくり	
実施内容	ただ描くのではなく、様々な参考資料をもとに、子どもたち自身で考えながら、自分の気持ちをもとに絵を描いた。	
参加者の反応	子どもたちは「難しかったけれど楽しかった」という反応が多かった。保護者からは「自宅ではきちんと取り組みにくいので助かる」と好評だった。	
材料・道具	絵の具、クレヨン、画板、タオルなど	


番号	No. 20、21	
区分	事務局主導講座	
講座名	Tシャツワークショップ ～Tシャツに絵を描こう～	
日時	7月31日(土) 13:30~16:30 8月1日(日) 9:30~12:30	
講師	鈴木 公明(日本メディアアート協会) 竹本 明子(日本メディアアート協会)	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	11名(7/31)、11名(8/1)	
ねらい	お気に入りのTシャツに絵を描くことで、物を大切にする心を育む 全国で展開されているTシャツアート展と連携して、eco-Tの認知度を高める	
概要	環境とアートの融合を考えるオリジナルTシャツづくりワークショップ	
実施内容	外部講師の助言を受けながら、Tシャツにイラストを描いてオリジナルの作品をつかった。エコットキッズタウンやこどもエコクラブで使える横断幕も、みんなで描いた。期間展示とも連動して実施した。(Ⅲ-3(2)参照)	
参加者の反応	子どもも大人も、参加者それぞれが、思い思いの作品づくりを楽しんでいた。	
材料・道具	Tシャツ(国産・オーガニック)、インク、筆、ドライヤー、アイロンなど	


番 号	No. 22	
区 分	事務局主導講座	
講 座 名	水辺の生きものを調べよう	
日 時	8月1日(日) 9:30~12:00	
講 師	eco-T事務局	
対 象	小学生と保護者	
参加人数	9名	
ね ら い	生きものや水質など川の環境について調べ、くらしとのつながりを考える	
概 要	大谷川の水生生物調査と、指標生物による水質調査	
実施内容	親子で大谷川に入り、いろいろな魚や水生昆虫を探した。見つけた生物をもとに、大谷川の水質について調べた。	
参加者の反応	川遊びをとっても楽しんでた。魚だけでなく、石の裏についている小さな水生昆虫にも、子どもたちは興味津々だった。	
材料・道具	水辺の生きもの調査セット、水筒、救急箱	


番 号	No. 23	
区 分	事務局主導講座	
講 座 名	ちりめんモンスターを探そう	
日 時	8月19日(木) 10:00~12:00	
講 師	高山 博好 (耕さない田んぼの学校 エコたん)	
対 象	小学生以上	
参加人数	57名	
ね ら い	海の生き物の多様性に触れ、生きものと私たちのくらしのつながりについて学ぶ	
概 要	ちりめんじゃこを使った生きもの探しワークショップとレクチャー	
実施内容	ちりめんじゃこに含まれている海の小さな生きものを分類し、生きもの多様性について考えた。また、人間のくらしの影響により、海の生きものが減ってきていること、このままでは数十年後には魚が食べられなくなるかもしれないことを伝え、自分たちにできることを考えるきっかけを与えた。	
参加者の反応	子どもたちは、生きもの探しに夢中になっていた。レクチャーも集中して聞き入っていた。	
材料・道具	ちりめんじゃこ(講座用)、ルーペ、トレー、竹串、ストロー、記録用台紙など	


番 号	No. 24	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	ネクタイでポシェットをつくろう	
日 時	8月21日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参加人数	15名	
ね ら い	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概 要	不要になったネクタイを使ったポシェットづくり	
実施内容	筆筒の中に眠っているネクタイを使って、デザイン的にも優れたポシェットをつくった。	
参加者の反応	縫い付ける部分が多く、苦勞している様子だった。完成まで至らずに自宅で続きをつくることになった参加者もいたが、好評だった。	
材料・道具	裁縫道具、不要になったネクタイ・ボタンなど	


番 号	No. 25	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	ドライアイスで遊ぼう	
日 時	8月22日(日) 10:00~12:00	
講 師	市民ボランティア インタープリター	
対 象	小学3年生以上	
参加人数	18名	
ね ら い	二酸化炭素の化学的な性質について、理解を深める	
概 要	二酸化炭素を使った実験とレクチャー	
実施内容	ドライアイスを使った実験や遊びを通して、二酸化炭素の性質について学んだ。ジュースを冷やしてシャーベットづくりも行った。原子や分子についても学んだ。二酸化炭素が地球を温暖化することについても学んだ。	
参加者の反応	ドライアイスが気化（昇華）したり、水に入れた時の激しい反応を見て、子どもたちが楽しく学んでいた。	
材料・道具	ドライアイス、軍手、金網、フィルムケース、ボール、ジュース、砂糖など	


番 号	No. 26	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	ゲルマニウムラジオをつくろう	
日 時	9月12日(日) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター 市民ボランティア	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	29名	
ね ら い	物づくりの楽しさを通じて、新しいものをつくりだそうという気持ちを育む また、科学的な物事の見方を身につける	
概 要	電子部品を組み合わせてゲルマニウムラジオをつくり、電器のしくみを学ぶ	
実 施 内 容	はんだごてを使って、電子部品を基板に取り付け、ゲルマニウムラジオをつくった。電子回路についてのミニレクチャーも行った。	
参加者の反応	結果的に半数くらいの子どものラジオが音が出なかったが、子どもたちは夢中で製作に取組み、充実した様子だった。電子回路の話は、やや難しそうに聞いている子どももいた。	
材 料 ・ 道 具	つくり方説明書、電子部品、はんだごてなど	


講 座 番 号	No. 27	
区 分	主婦向け講座	
講 座 名	傘でリメイク エコバッグに変身	
日 時	9月17日(金) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	20歳以上	
参 加 人 数	12名	
ね ら い	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概 要	不要になった傘の布地を使ったエコバッグづくり	
実 施 内 容	壊れた傘の布を使い、簡単な手順で、オリジナルのエコバッグをつくった。	
参加者の反応	簡単で、応用のできるつくり方が好評だった。	
材 料 ・ 道 具	傘の布、ミシン、裁縫道具など	


番号	No. 28	
区分	エコ手芸教室	
講座名	可愛いぬいぐるみをつくろう	
日時	9月18日(土) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上	
参加人数	18名	
ねらい	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概要	古布と手芸用の綿を使ったぬいぐるみづくり	
実施内容	使わなくなった布(ワイシャツなど)を型紙に合わせて裁断し、縫い合わせて綿をつめて動物の形をしたぬいぐるみをつくった	
参加者の反応	古いワイシャツなどの持参する参加者が多く、リメイクや「もったいない」の精神が伝わってきているようだった。	
材料・道具	不要になったワイシャツなどの古布、手芸用の綿、型紙、裁縫セットなど	

番号	No29	
区分	エコットクッキング	
講座名	お月見団子をつくろう	
日時	9月18日(土) 13:30~15:30	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	24名	
ねらい	料理を通して、生産・買い物・調理・片付けのエコへの気づきを促す	
概要	仲秋の名月に合わせて、お月見団子をつくる	
実施内容	お月見の由来を知り、米粉を使った伝統の月見団子やサトイモのおやきをつくり、おいしく食べた。出たごみの重さと片付け時に使った水の量を測ることで、エコな調理や片付けのための意識づけを行った。	
参加者の反応	親子で楽しく取組んでいた。アンケートでもほとんどの参加者が5段階評価の5を付けた。	
材料・道具	米粉、サトイモ、調味料、手ふきタオルなど	


番 号	No. 30	
区 分	事務局主導講座	
講 座 名	ごみ収集の現場を学ぼう	
日 時	9月23日(木) 8:00~15:00	
講 師	市清掃業務課職員 パッカー車運転手 eco-T事務局	
対 象	18歳以上	
参加人数	5名	
ね ら い	ごみ収集の体験と資源化施設の見学を通して、ごみ分別の大切さを実感する	
概 要	パッカー車の乗車・収集体験と、渡刈クリーンセンター内の施設見学	
実施内容	午前中は一人ずつそれぞれパッカー車に同乗させていただき、ごみの収集作業を体験した。午後は燃やすごみの処理施設に加え、通常は見ることのできないプラスチック製容器包装資源化施設や空き缶処理施設を見学した後、意見交換した。	
参加者の反応	講座終了時のふりかえりでは、「参加して良かった」、「多くの人にぜひ体験してほしい」、といった意見が多く出された。	
材料・道具	作業服、長靴、着替え、タオル、水筒	


番 号	No. 31	
区 分	eco-T ボランティア1日体験会	
講 座 名	再生紙づくりを教えよう	
日 時	9月25日(土) 9:30~16:30	
講 師	eco-T事務局	
対 象	18歳以上	
参加人数	4名	
ね ら い	講座を運営する側にまわることで、人に伝えることの充実感を体験する	
概 要	エコライフを人に伝えるボランティアの1日体験会	
実施内容	午前中に牛乳パックの紙すきと、紙の分別やリサイクルすることの大切さを学んだ。午後は紙すき講座の講師になり、講座の運営を体験し、1日の活動をふりかえった。	
参加者の反応	ボランティア活動や講座の運営に関心のある人たちが参加した。午後の一般向け講座で参加者に伝えたいことを整理するのが難しいようだったが、充実感があったという声が聞かれた。	
材料・道具	牛乳パック、糊、ミキサー、紙すきの道具、アイロンなど	


番 号	No. 32	
区 分	事務局主導講座	
講 座 名	再生紙を作ってみよう ～牛乳パックでハガキづくり～	
日 時	9月25日(土) 13:30～15:30	
講 師	1日ボランティア体験者 インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	10名	
ね ら い	紙すき体験を通して、紙の分別とリサイクルについて学ぶ	
概 要	牛乳パックを使った紙すき体験とレクチャー	
実施内容	紙の分別やリサイクルのしくみについて学んだ後、牛乳パックをほぐしたパルプに、色紙を混ぜたり、落ち葉を漉き込んで、オリジナルのハガキをつくった。	
参加者の反応	個性的な作品ができあがって、満足な様子だった。	
材料・道具	牛乳パック、糊、ミキサー、紙すきセット、アイロンなど	


番 号	No. 33	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	電子レンジのひみつ	
日 時	10月3日(日) 10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア インタープリター	
対 象	小学3年生以上	
参加人数	6名	
ね ら い	電子レンジのしくみと電磁波について学ぶ	
概 要	さまざまな実験を通して、電子レンジのしくみや電磁波の性質を学ぶ	
実施内容	電子レンジを使って、食品を温めるためのしくみやマイクロ波の性質を学んだ。身の回りには電磁波についてのレクチャーも行った。	
参加者の反応	普段使っている電子レンジのしくみを学び、勉強になったという声が聞かれた。日常では意識しない電磁波について、考えるきっかけになった。	
材料・道具	電磁波マップ、電子レンジ、グローランプ、ポップコーンなど	
特記事項	電子レンジで加熱したグローランプで、小学4年生の子どもが一人、手の小指をやけどした。保護者が整形外科に連れて行き、大丈夫と診断された。後日、その際の交通費をイベント保険で対応した。	





番 号	No. 34	
区 分	親子バスツアー	
講 座 名	リサイクル粘土を使ってオリジナル食器をつくろう	
日 時	10月16日(土) 9:00~16:00	
講 師	山津製陶株式会社のスタッフ セラミックパーク MINO のスタッフ eco-T事務局(引率)	
対 象	小学4年生~中学3年生の親子	
参加人数	20名	
ね ら い	陶器のリサイクルについて学び、手づくりの楽しさを体験し、物を大切にする心を育む	
概 要	貸し切りバスで eco-T から岐阜県美濃地方に出かけ、リサイクル食器の製造工場の見学と、陶芸体験を実施した	
実施内容	午前中は、山津製陶で、豊田市の学校で使っている食器の割れ物などを材料とした、陶器の製造工程を見学した。午後はセラミックパーク MINO に移動し、子どもたちがリサイクル粘土を使ってオリジナル食器づくりに挑戦した。	
参加者の反応	「食器のリサイクルを初めて知った」、「陶芸体験が楽しかった」、「バスでみんなでお話しできて楽しかった」といった感想が多く聞かれた。	
材料・道具	バスツアーのしおり	


番 号	No. 35	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	和のコサージュをつくろう	
日 時	10月16日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参加人数	19名	
ね ら い	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概 要	使わなくなった和風の布(風呂敷など)を使ったコサージュづくり	
実施内容	使わない風呂敷や和服の布地を花びらの型紙に合わせて裁断し、縫い合わせてコサージュをつくった。	
参加者の反応	各パーツの大きさのバランスを合わせるのに苦労している様子だったが、華やかな作品が完成し、みな満足気だった。	
材料・道具	裁縫道具、和風の布、綿、型紙など	


番 号	No. 36	
区 分	絵手紙教室	
講 座 名	絵手紙でエコを発信しよう ～秋編～	
日 時	10月23日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	12名	
ね ら い	旬を描く絵手紙を通して、エコについて考える	
概 要	秋の旬の素材を題材にした絵手紙づくり	
実施内容	野菜が実る位置をクイズ形式で学び、食について改めて見直した。その後、秋が旬の野菜や果物、花々などを絵手紙にした。	
参加者の反応	あまり考え込まず、気軽に作品を完成させていた。初めての人でも「講師のていねいな説明のおかげで、戸惑わずに描けた」という感想が聞かれた。	
材料・道具	旬の野菜・果物・花、えんぴつ、絵の具、墨汁など	


番 号	No. 37	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	月と太陽と地球	
日 時	11月14日(日) 10:00~12:00	
講 師	市民ボランティア インタープリター	
対 象	小学生以上	
参加人数	20名	
ね ら い	なぜそのように見えるのかというしくみを学び、科学的な興味を喚起し、科学的な物事の見方を身につける	
概 要	様々な月の見え方がどのようにして起こるのか、模型を使って学ぶ	
実施内容	地球から見た月と太陽の動きを再現する模型セットをつくって、月の満ち欠けや日食・月食のしくみを学んだ。	
参加者の反応	「もっと星や宇宙の話が聞きたくなった」といった感想が聞かれた。	
材料・道具	工作の材料（地球と月と太陽の模型セット）、テキストなど	


番号	No. 38	
区分	エコットクッキング	
講座名	旬の味覚の炊込みごはんをつくろう	
日時	11月14日(日) 10:00~13:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	18人	
ねらい	料理を通して、生産・買い物・調理・片付けのエコへの気づきを促す	
概要	旬の食材を使ったおいしい食事づくり	
実施内容	さつまいもご飯、さんまのハーブ焼き、ぶどうゼリーなどをつくって、おいしくいただいた。食後には、旬の食材を食べることについてのレクチャーを行った。	
参加者の反応	子どもも調理に参加し、楽しく行うことができた。旬と環境についての関係を初めて知る参加者も多く、勉強になったという声も聞かれた。	
材料・道具	さつまいも、さんま、とうがん、巨峰、鶏肉など	


講座番号	No. 39	
区分	主婦向け講座	
講座名	干し野菜料理講座	
日時	11月19日(金) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	20歳以上(子ども同伴可)	
参加人数	20名	
ねらい	食材を無駄なく、おいしく食べる方法を実践して学ぶ	
概要	干し野菜料理や余りがちな食材を利用した調理と試食	
実施内容	干し野菜のみそ汁、ふりかけ、のりの佃煮など、毎日の食事にとり入れやすいメニューを調理実習し、干し野菜のつくり方や調理方法などを紹介した。	
参加者の反応	簡単においしくでき、野菜を無駄なくたくさん食べることができ、「健康にもよさそう」、「家庭でやってみたい」など、好評だった。	
材料・道具	干し野菜(大根、白菜、しめじなど)、のり、ミルサー、鍋など	


番号	No. 40	
区分	エコ手芸教室	
講座名	ハワイアン・キルトのコースターをつくろう	
日時	11月20日(土) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上	
参加人数	21名	
ねらい	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概要	古布を使ったコースターづくり	
実施内容	不要になったワイシャツなどの古布を型紙に合わせて裁断し、縫い合わせてハワイアン・キルトのコースターをつくった。	
参加者の反応	楽しくリメイクに取り組んでいた。リピーターが多く、和気あいあいとした雰囲気がある。会場の片付けなども、参加者が率先して手伝っていた。	
材料・道具	裁縫道具、ワイシャツなどの古布、キルト芯、型紙など	


番号	No. 41	
区分	事務局主導講座	
講座名	ごみ収集の現場を学ぼう	
日時	11月23日(火) 8:00~15:00	
講師	市清掃業務課職員 パッカー車運転手 eco-T事務局	
対象	18歳以上	
参加人数	2名	
ねらい	ごみ収集の体験と資源化施設の見学を通して、ごみ分別の大切さを実感する	
概要	パッカー車の乗車・収集体験と、渡川クリーンセンター内の施設見学	
実施内容	午前中は一人ずつそれぞれパッカー車に同乗させていただき、ごみの収集作業を体験した。午後は燃やすごみの処理施設に加え、通常は見ることのできないプラスチック製容器包装資源化施設や空き缶処理施設を見学した後、意見交換した。	
参加者の反応	「体験してよかった」という感想が聞かれた。	
材料・道具	作業服、長靴、着替え、タオル、水筒	

講座番号	No. 42	
区分	主婦向け講座	
講座名	ナチュラルクリーニングで年末の大掃除をしよう	
日時	12月10日(金) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	20歳以上(子ども同伴可)	
参加人数	15名	
ねらい	合成洗剤に頼らない、健康にも環境にも優しい掃除の仕方を学ぶ	
概要	重曹、廃油せっけんの使用方法を知り、実践する	
実施内容	家庭にある、汚れの落ちにくいものを持参してもらい、実際に重曹や廃油せっけんを使って汚れを落とす体験をした。	
参加者の反応	使い方があまり知られていない重曹を実際に使用したことにより、毎日の生活にも取り入れてみようという気持ちになってもらった。使い方の一つとして紹介した、重曹の入浴剤も好評だった。	
材料・道具	重曹、廃油せっけん	


番号	No. 43	
区分	もった博士のかがく倶楽部	
講座名	LED ツリーをつくろう	
日時	12月12日(日) 10:00~12:00	
講師	インタープリター 市民ボランティア	
対象	小学生以上	
参加人数	25人	
ねらい	電子工作を通して電器のしくみに関心を持つきっかけをつくる	
概要	はんだと電子部品を使った電子工作	
実施内容	LED電球をクリスマス・イルミネーションに見立てたツリーをつくった。モールで個性的な飾り付けをしたツリーができあがった。	
参加者の反応	最初は戸惑いがあったが、講師がていねいに説明したことで、安心して取り組めた様子だった。	
材料・道具	LED電球などの電子部品、はんだごて、延長コード、ツリーなど	


番 号	No. 44	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	かぎ針で毛糸の帽子をつくろう	
日 時	12月18日(土) 9:30~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参加人数	20名	
ね ら い	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概 要	着用しなくなったセーターやニットをほどいた糸を使った帽子づくり	
実施内容	着用しなくなったセーターやニットの糸にほどき、かぎ針編みで帽子を製作した。	
参加者の反応	編み方のパターンを習得するまでは質問が多かったが、ある程度理解した後は、集中して熱心に取り組んでいた。初参加者も含め、楽しかったと好評だった。	
材料・道具	古いニットを糸にほどいたもの、かぎ針、裁縫道具など	

番 号	No. 45	
区 分	eco-T ボランティア1日体験会	
講 座 名	竹はしづくり講座のお手伝い	
日 時	12月18日(土) 9:30~16:30	
講 師	eco-T 事務局	
対 象	18歳以上	
参加人数	5名	
ね ら い	講座を運営する側にまわることで、人に伝えることの充実感を体験する	
概 要	エコライフを人に伝えるボランティアの1日体験会	
実施内容	午前中は、竹箸づくりと牛乳パックを使った箸袋づくりを体験し、つくり方を学んだ。また、箸をきっかけに木材利用や使い捨てを考えるための発表に向けて準備をした。午後は竹はしづくり講座のお手伝いと発表を行い、1日の活動をふりかえった。	
参加者の反応	ボランティア活動に関心のある参加者や、ふだんは受講生として関わっていて、運営する側になりたいという関心の高い層の参加を得た。一般受講生に伝えたいことを整理することが難しいようだったが、充実感があつたという声を得た。	
材料・道具	竹、紙やすり、牛乳パック、和紙、マジック、のりなど	


番号	No. 46	
区分	事務局主導講座	
講座名	竹のおはしをつくろう	
日時	12月18日(土) 13:30~15:30	
講師	1日ボランティア体験者 インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	6名	
ねらい	自然素材の道具づくりの楽しさを知り、割り箸の現状から環境問題を学ぶ	
概要	竹を使ったクラフト体験とレクチャー	
実施内容	予め棒状に削っておいた竹を使って、紙やすりで形を整え、箸をつくった。また、牛乳パックと和紙を使って箸袋をつくった。つくった箸で豆つかみ競争をした。割り箸の消費量や森林面積の減少を伝え、資源の有効利用の重要性を学んだ。	
参加者の反応	手づくりの箸に愛着を持った様子で、「自宅で使いたい」という声が聞かれた。	
材料・道具	竹、紙やすり、牛乳パック、和紙、マジック、大豆など	


番号	No. 47	
区分	絵手紙教室（外部施設での試行）	
講座名	絵手紙でエコを発信しよう ～冬編～ （会場：美里交流館）	
日時	1月29日(土) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上（リピーター）	
参加人数	15名	
ねらい	旬を描く絵手紙を通して、エコについて考える	
概要	秋の旬の素材を題材にした絵手紙づくり	
実施内容	冬のエコライフについてのミニレクチャーの後、冬の野菜や果物、花々などを絵手紙にした。	
参加者の反応	「楽しく描けた」といった感想が多く聞かれた。	
材料・道具	旬の野菜・果物・花、えんぴつ、絵の具、墨汁など	
特記事項	今回は外部施設での試行的な開催だが、今後に向けて、絵手紙講座の会場の場合は水道が付いている部屋が望ましいこと、床が濡れる可能性があるため床の形態に注意し、場合によってはシートを敷くなどの対応が必要であることといった注意点が明らかになった。	


番号	No. 48	
区分	エコ手芸教室（外部施設での試行）	
講座名	古いネクタイからアスコットタイをつくろう（会場：保見交流館）	
日時	2月5日（土） 9：30～11：30	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上（リピーター）	
参加人数	10名	
ねらい	不要になった布地のリメイクを通して、「もったいない」の精神を学ぶ	
概要	間近に迫ったバレンタインデーにちなんで、男性向けのプレゼント品として、古ネクタイを使ってアスコットタイを製作	
実施内容	古ネクタイの一部をほどいて裏布を縫いつけ、アイロンがけをして箱ひだ状に仕上げた。	
参加者の反応	「使わないネクタイがたくさんあり、再利用できてうれしい」といった感想が聞かれた。	
材料・道具	使わなくなった幅が広めのネクタイ、裁縫道具など	


番号	No. 49	
区分	事務局主導講座（外部施設での試行）	
講座名	かえっこバザール（会場：ナゴヤハウジングセンター豊田会場）	
日時	2月13日（日） 10：00～16：00	
講師	大学生（愛知学泉大学ボランティア） インタープリター	
対象	子ども、親子	
参加人数	300名	
ねらい	リユースの促進や、「ゆずりあい」、「もったいない」の心を育む	
概要	不要になったおもちゃや絵本の交換イベントと、インタープリターによるエコ屋台村の実施	
実施内容	屋外に長机を並べて受付をつくり、地面にシートを敷いておもちゃを並べて、かえっこバザールを実施した。最後には、恒例のオークションも実施した。	
参加者の反応	同日に開催されたキャラクターショーなどと合わせて、大いに楽しんでいる様子だった。	
材料・道具	かえっこバザールののぼり、おもちゃ、シート、スタンプ、買い物かごなど	



番号	No. 50	
区分	事務局主導講座（外部施設での試行）	
講座名	缶バッチでエコ宣言（会場：ナゴヤハウジングセンター豊田会場）	
日時	2月19日（土） 10：00～16：00	
講師	インタープリター	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	40名	
ねらい	楽しい缶バッチづくりを通じて、エコライフへの意識付けを行う	
概要	くらしの中で実践するエコについて宣言してもらい、オリジナルの缶バッチをつくる	
実施内容	カードにエコ宣言を書いてもらった後、参加者それぞれが自分で絵柄をデザインしてオリジナルの缶バッチをつくり、持ち帰っていただいた。	
参加者の反応	夢中になってバッチのデザインを描いていた。出来上がった缶バッチをうれしそうに見つめていた。	
材料・道具	エコ宣言カード、缶バッチ製作用機械、缶バッチの部品、紙、色鉛筆など	

番号	No. 51	
区分	事務局主導講座（外部施設での試行）	
講座名	新聞紙でエコバッグをつくろう （会場：ナゴヤハウジングセンター豊田会場）	
日時	2月20日（日） 10：00～16：00	
講師	インタープリター	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	85名	
ねらい	手づくりの楽しさや、「もったいない」の心を育む	
概要	新聞紙とのりを使ったペパバッグづくり	
実施内容	新聞紙の気に入ったページを使って、日常の中で使えるペパバッグをつくった。	
参加者の反応	比較的簡単につくれることに驚いていた。	
材料・道具	新聞紙、のり、はさみ、手ふきなど	

番号	No. 52	
区分	インタープリター主導講座 (外部施設での試行)	
講座名	牛乳パックで工作をしよう (会場：ナゴヤハウジングセンター豊田会場)	
日時	3月12日(土) 10:00~16:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	105名	
ねらい	牛乳パックを使ったクラフトの体験を通じて、手づくりの楽しさや「もったいない」の心を育む	
概要	牛乳パックを使ったクラフト(小物入れ、ぱくぱく君、ブーメラン)	
実施内容	牛乳パックを切り貼りして、シールや色紙を表面に貼ったり、絵を描いたりして、小物入れやブーメラン、動物の顔のおもちゃ「ぱくぱく君」をつくった。	
参加者の反応	男の子はブーメラン、女の子は「ぱくぱく君」、保護者には小物入れが人気だった。子どもたちは一生懸命つくっていた。	
材料・道具	牛乳パック、カッター、はさみ、接着剤、シール、色画用紙など	

番号	No. 53	
区分	エコットクッキング (外部施設での試行)	
講座名	簡単おやつ作りを楽しもう (会場：上郷交流館)	
日時	3月13日(日) 10:00~12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上(リピーター)	
参加人数	21人	
ねらい	料理を通して、生産・買い物・調理・片付けのエコへの気づきを促す	
概要	地元産の米粉や小麦粉を活用した簡単なおやつ作り	
実施内容	調理の中で地産地消の特長を伝えつつ、三色パプリカのおやきとニンジンゼリーを手づくりして、みんなでおしくいただいた。	
参加者の反応	参加者は満足の様子だった。慣れない外部施設での初めての試行ということで、調理道具の置き場所などを講師もきちんと把握しておらず、まごついた場面があった。次年度に向けては、会場の下見をきちんと実施したい。	
材料・道具	布きん、エプロン、米粉、小麦粉、パプリカ、牛乳、にんじんなど	

(2) 連続講座「未来へのエコトーク 2010」

	日時	テーマ	講師	参加者数
1	8月29日(日) 12:30~16:00	映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 & 鎌仲ひとみ監督講演会	鎌仲 ひとみ (ドキュメンタリー映画監督)	82
2	9月20日(月) 14:00~16:00	「いただきます」からはじめよう 精進料理から学ぶ	柿沼 忍昭(禅僧)	44
3	10月17日(日) 14:00~16:00	今さら聞けない? 今だから聞ける? フェアトレードの表と裏	林口 宏 (有限会社フェアトレーディング)	30
4	11月28日(日) 11:00~16:00	つないでいこう 映画「ほんがら」上映会 自然と調和した暮らしの文化・知恵	水野 馨生里 (NPO 法人 地域再生機構)	23
5	1月23日(日) 14:00~16:00	カンタン「エコ菜園」から食卓を考える	竹内 孝功(自給自足 Life)	43
6	2月20日(日) 14:00~16:00	「脱温暖化」のための森づくり・まちづくり	田中 淳夫(森林ジャーナリスト)	27

